

東北電力(株)東通原子力発電所図書寄贈

12月3日、東北電力(株)東通原子力発電所 佐藤敏秀所長が役場庁舎を訪れ、小・中学生を対象としたエネルギーや環境に関する図書を含む教育関係図書15冊を東通村へ寄贈しました。

同社は、平成10年から「原子力の日(10月26日)」、「電気記念日(3月25日)」にちなみ、次世代を担う子供たちにエネルギーや環境について関心を深めてもらうことを目的として、村内の小学校や中学校に教育関係図書を寄贈してきました。

寄贈は今回で30回を数え、寄贈いただいた図書等は子ども達のために活用されています。ありがとうございました。



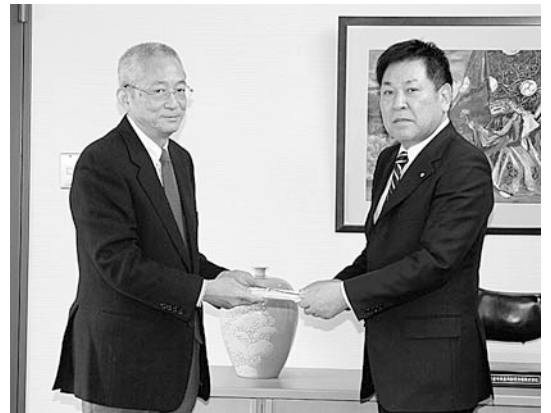
越善村長に目録を手渡す佐藤所長(右)

未来を担う子どもたちのために！

12月11日に石堂哲郎氏(白糠診療所長)が役場庁舎を訪れ、「子どもたちの教育のために役立ててください」と、金100万円を東通村へ寄附されました。

石堂氏は平成17年1月より白糠診療所長として地域医療に尽力くださいましたが、12月末日をもって退職されました。石堂氏の地域の健康増進に対するご功績は大きく、改めて感謝申し上げます。

ご寄附いただいたご浄財は『東通村育英基金』として活用させていただきます。ありがとうございました。



越善村長に目録を手渡す石堂氏(左)

自衛官募集相談員委嘱状交付式

11月13日、役場庁舎において、自衛官募集相談員の委嘱状交付式が行われました。

委嘱状が交付されたのは、丹内俊範さん(再任・古野牛川)、三國立さん(再任・岩屋)、北川幹雄さん(新任・小田野沢)の3名。自衛官募集相談員の任期は2年間で、自衛官志願者に対する自衛隊に関する情報提供や、地域における広報活動などの募集事務について援助・活動を行っていきます。

わが国の安全や平和を守るため、自衛官の果たす役割はたいへん重要ですが、少子化などにより自衛官の確保が難しくなっている中で、相談員の活躍が期待されます。



前列左から北川さん、丹内さん、三國さん